

札幌市内宿泊施設受入環境整備補助金 活用事例

実際にご申請をいただいた取組事例や、活用いただける事例をご紹介します。
申請は11/15まで！ぜひ事例を参考に補助金の活用をご検討ください。



MENU 1 : 多言語対応

- 宿泊案内を多言語化
- パンフレットを多言語化
- レストランメニューを多言語化
- スパや温泉の入浴ルールを多言語化
- フロントで使用する自動翻訳機の購入
- ホームページを多言語化
- 従業員向け外国語研修の実施

一番人気のメニュー！既存の日本語版の原稿を翻訳する形であれば、新たな手間をかけずに取り組みやすいかもしれません。

- 誘導を目的とした多言語案内板等の制作
- 多言語で情報提供するデジタルサイネージの購入



MENU 2 : SDGs（環境配慮）への対応

- 白熱灯からLED照明への取替
- 節水シャワーヘッドの導入
- ペットボトル等容器包装の削減及びマイボトルの利用促進を目的とした給水機の購入

LED照明への交換も対象になります！



MENU 3 : 緊急時対応

- 非常用ポータブル発電機の購入
- 災害時の集中利用に対応できるよう、ロビー等のWi-Fiを増強
- 宿泊者が被災した際の必要物品（懐中電灯、非常時に利用できるスマートフォン等携帯電話のポータブル充電機器等）の購入
- 外国人宿泊客を対象とした緊急時・災害時等対応マニュアルの作成
- 災害時に多言語で情報発信するための機材（多言語メガホン等）の購入に係る経費

後回しになってしまいがちな災害対応ですが、いざという時のための“そなえ”が大切。

MENU 4 : 多様な文化等への対応

- 多様な食習慣（ベジタリアン・ヴィーガン・ハラール等）に対応するためのメニュー作成に係る経費
- ハラール認証、ヴィーガン・ベジタリアン認証等の取得に係る経費
- 多様な文化等へ対応するための従業員研修に係る経費
- 礼拝室の整備に係る経費

ベジタリアン等は、欧州諸国を中心に毎年約300万人以上の増加傾向。
来札観光客数上位の台湾でも人口の14%がベジタリアン等です。
（出典：ベジタリアン・ヴィーガンおもてなしガイド（北海道観光振興機構ホームページ））